



夏休み号

平成27年7月17日発行

荻田小だより

横浜市都筑区荻田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

想像の翼

校長 澤田 有子

『赤毛のアン』(L・M・モンゴメリ作)の主人公アン・シャーリーは、想像力が豊かでおしゃべりな女の子です。美しくロマンチックなものが好きで、美しいものには名前をつけたがります。アンの世界は、きらきらと輝く素敵な言葉に溢れています。

「これから発見することがたくさんあるって、すてきだと思わない？あたししみじみ生きているのがうれしいわー世界って、とてもおもしろいところですよ。もし何もかも知っていることばかりだったら、半分もおもしろくないわ。そうでしょう？そうしたら、ちっとも想像の余地がないんですよのねえ。」

「こんな朝にはただただ世界が好きでたまらないという気がしない？」

「なんてすばらしい日でしょうねとアンは深々と息を吸い込んだ。こんな日に生きていることだけでしあわせじゃないこと？」

「今夜は星がきらきらしているわ。もし星に住めるのなら、マリラはどれにする？」

「明日がまだ何ひとつ失敗をしない新しい日だと思うとうれしくない？」

「あのね、マリラ、何かを楽しみにして待つということが、そのうれしいことの半分にあたるのよ。」

「この部屋にはあんまりいろんな物があって、しかもみんな、あんまりすばらしいもんで、想像の余地がないのね。貧乏なものしあわせの一つは、たくさん想像できるものがあるということだわね。」

「でもねえ、マリラ。こんなおもしろい世界でそう、いつまでも悲しんじゃられないわね、そうでしょう？」

— 『赤毛のアン』より引用 —

さて、明日からは40日間の長い休みが始まります。想像することの楽しさを存分に味わうことのできる夏休みであってほしいと願っています。真夏の太陽と入道雲と草いきれとセミの鳴き声...が、想像の翼を大きく広げるための一助となることでしょう。想像力は、人と人とのコミュニケーションを深めるために必要な大切な力ではないでしょうか。



「スマホ・ケータイ安全教室」 (協力:NTTドコモ)

本校でも、年々スマホやケータイを持っている子どもが増えてきています。これらは、上手に使いこなせばとても便利な情報機器の一つですが、大きな落とし穴をもつ道具でもあります。

そこで、6年生を対象に「スマホ・ケータイ安全教室」を行い、スマホやケータイを使う時に気をつけるポイントについて考える機会を設けました。大きな落とし穴に落ちてしまわないように、**ご家庭で『ルール作り』**をお願いします。大切な子どもたちを守るために。